



第 20 回 子育てサイエンス・カフェ

# その 子ども服 大丈夫?



- 子どもの安全を守る衣服のかたち -



講師

日本女子大学 家政学部被服学科  
講師 武本 歩未



専門は被服構成学、被服体型学。快適で機能的な衣服設計のために、人体の寸法や三次元形状データを用いた体型研究、衣服パターンやサイズの検討を行っている。  
共著に『衣服の百科事典』『日本人成人の人体寸法データブック 2014-2016』がある。現在、全国規模で日本人女児の体格調査に取り組んでいる。

日時

2024年 9/21(土)  
10:30~12:00

Zoomによるオンライン開催となります。ご自宅からお気軽にご参加ください。

申込み

QRコード または URL からお申込みください。▼お申込み

<https://forms.office.com/r/cZsJx6FxT1>

お申込み受付後、Zoom 詳細情報をメールにてお送りいたします。



衣生活が充実し、デザイン性や経済性に優れた子ども服を簡単に手に入れることができるようになりました。その一方で、衣服のデザインを起因とする子どもの事故が報告されています。元気いっぱい遊びざかりの幼児期に、思わぬことが原因となりヒヤリとした体験をされた方もいるかもしれません。このような事故を未然に防ぐため、子ども用衣料の付属品(ひも類)に関する基準は整備されたものの、衣服そのものの“かたち”に関する基準はありません。



今回は、子ども服の安全基準の現状を理解するとともに、安全な衣服のかたちとサイズについて考えたいと思います。



過去の子育てサイエンス・カフェの様子は、子育てサイエンス・ラボニュースレター「ゆりのき」からご覧いただけます。



社会連携教育センター  
公式 SNS

